時事新報

驛遞局認可

明治十八年四月廿三日 木曜日
（西暦一千八百八十五年）
第九百五十號
日曜日休刊

時事新報定價　（日曜日バカリ休刊）

一枚金三錢○一箇月前金六十五錢○三箇月前金一圓八十錢○六箇月前金三圓四十錢○一箇年前金六圓五十錢○東京十五區内並ニ横濱區内ニ限リ配達費ヲ除ク○郵税東京横濱ヲ除クノ外日本國内並ニ海外郵便聯約國（歐洲諸國等）ヘ御送ノ郵便税ハ一箇月金廿六錢一箇年金三圓十二錢ノ割ヲ以テ前金ニテ申請ヲ乞フ

時事新報廣告料（前金）

○二日以上六日間以内一行ヨリ十行迄一行ニ付一日分金八錢、十一行ヨリ三十行迄一行ニ付一日分金七錢、三十一行ヨリ五十行迄一行ニ付一日分金六錢五厘、五十一行以上何行ニテモ一行ニ付一日分金六錢、但シ六日間以上掲載ノ分ハ定價一割引、十五日間以上同斷同一割五歩引、三十日間以上同斷同二割引

○一日限廣告一行ヨリ十行迄一行ニ付一日分金十錢、十一行ヨリ三十行迄同金九錢、三十一行ヨリ五十行迄同金八錢、五十一行以上同金七錢（注意）本社廣告料一日限リ掲載ノ分改正シ三月一日ヨリ右ノ通計算致候但二日間以上掲載ノ分ハ從前ト少シモ異ナルヿナシ

賞勳叙任

○明治十七年八月廿六日

獨逸國皇帝陛下ノ公使館元通辯見習
アレキサンドル　フオン　クノブロッヒ
叙勳五等賜與雙光旭日章

○明治十八年四月廿一日

任豐國神社宮司　白峯宮宮司從五位　子爵日野西光善
任白峯宮宮司　豐國神社宮司從四位　三室戸和光

時事新報

東京圖書館

政治上ノ移住民

古來優等國人ガ劣等國ヲ取ルニ二方法アリ一ハ侵畧ヲ以テスルモノニシテ一ハ移住ヨリスルモノ即チ是ナリ而シテ其侵略ヨリスルモノトハ優等國ガ武力ヲ以テ劣等國ヲ取ルノ方法ニシテ之ヲ取ルノ口實ナケレバ瑣小ノ過失ヲ難題トシテ土地ノ割讓等ヲ申シ出シ否トモ云ハバ干戈其全國ヲ壓シテ之ヲ附庸ニ歸スルモノナリ往時君主專制ノ世ニハ歐亞諸國其君主ノ功名心ニ任セテ漫ニ侵略ノ事ヲ企テ一將功成リテ萬骨枯ル、ニモ拘ハラズ人國ヲ滅シテ之ヲ其版圖ニ歸シ其大勳功ヲ封禪ノ紀念碑ニ銘シテ之ヲ不朽ニ傳ヘンヿヲ云フ心算ニ頼リニ諸國ヲ全テタレドモ今日文明世界ノ侵略策ハ人國ヲ取テ其國ノ利ヲ利セント欲スルモノナレバ劣等國ガ之ヲ防禦スルノ策ハ三月廿六七兩日ノ時事新報紙上「兵備擴張論ノ根據」ト題スル論文中ニ論セシ如ク我國利タル其ノ實ノ大小ニ準シテ我護國ノ兵備タル毛毬ヲ尖ラシ侵入者ヲシテ敢テ手ヲ觸ル、ヿナカラシムルノ一方ニシテ足レリ故ニ閣下該等國ノ侵略策ハ劣等國ニ取リテ固ヨリ恐ル可シト雖モ而モ國利ヲ保護スルノ兵力アリテ其優等國人ヲシテ其兵力ヲ爲シテ其國利ヲ取リテハ得失相償ハズトノ覺悟ヲ抱カシムルヿヲ得バ先ツ以テ安心ナルモノ、如シ又此優等國ヲ取ルニ移住ヨリスルモノトハ歐洲人ノ北亞米利加殖民ニ於ケルガ如ク當初ハ一個人々ノ營業ニテ商賣ニ殖産ニ銘々揃々ノ目的ニテ漸次ニ移住スルニ隨テ漸次ニ其人口ヲ増加シ遂ニ在住ノ劣等人民ヲ壓倒シテ愛ニ自治ノ政府ヲ打チ立テ遂ニ其土地ヲ統治スルモノナリ故ニ優等國人ガ移住ニ因リテ劣等國ヲ取ルニハ[illegible]ズ可ラズト雖モ其移住ノ當初ニ在テハ一個人々思ヒ〳〵ノ目的ヲ以テ漸次ニ來集スルガ故ニ豫メ之ヲ制スルノ方策ナク劣等國人ハ唯其來住ヲ傍觀シテ殆ンド後來ノ災害ヲ測ラズ之レト倶ニ雜居スル中、龍卵孵化シテ漸々ノ本性ヲ現ハシ較龍蛇ニ池中ノ物ニ非ズ金力ニ智力ニ漸ク劣等國人ヲ制御シテ其國ノ主位ヲ占ムルニ至ルガ故ニ優等國人移住ノ一事ハ劣等國ニ取リテ侵畧ノ恐ル可キガ如クニ恐レザルヲ得ザルナリ

右ノ如キ次第ニテ優等國人ノ移住ハ劣等國ニ取リテ甚ダ恐ル可キモノナレバ從來優等國中ニテ他國ニ移住セントスルモノハ十中八九商賣及ビ殖産ノ目的ヲ有スルモノニシテ其企望スル所ハ唯金錢ノ一物ノミナリシト雖ドモ近來歐洲諸國ニテハ政治上ノ不平ヲ抱テ去テ他國ニ移ルモノアリ即チ彼ノ愛蘭黨ノ北亞米利加ニ於ケル虚無黨社會黨ノ瑞西國ニ於ケルガ如ク本國ニ在テ政治上ノ改革ヲ企テ事成ラズシテ志猶ホ存シ逮捕究覈ヲ避ケテ他國ニ逃レ機ヲ見テ其ノ宿志ヲ洩サントスルモノニシテ此等ノ黨人ハ孰レモ慷慨激烈ニシテ功名ノ心熾ンナルヿ死地ヲ踏ムヿ坦途ノ如クナルガ故ニ斯カル黨人等ガ若シモ劣等國中ニテ權勢ヲ求メント欲スルヿアラバ何ヲ求メテカ得ザラン、何ヲ欲シテカ成ラザラン、之ヲ從來ノ移住民タル商賣人殖産家等ニ比スル件ハ其恐ル可キヿ虎ト猫トノ相違アル可シト雖ドモ愛ニ劣等國ノ爲メニ偶然ノ仕合セトモ云フ可キハ此政治上ノ移住民ハ身他國ニ移住スト雖ドモ乃心本國ニ存スルガ故ニ斷然故郷ノ事ヲ忘レテ新ニ其移住國ノ政治上ニ立入ラントスルノ志念ナク彼ノ愛蘭人ガ亞米利加ニ歐洲大陸ニ漂泊スルニモ拘ハラズ常ニ憤ヲ英國ニ洩サントシ、寧ロ劣等國ノ鷄口ト爲ルモ優等國ノ牛後ト爲ラズ、人間功名ヲ得ルノ地ハ何ゾ必ズシモ父母ノ國ニ限ランヤト云フガ如キ磊落心ナキガ故ニ今日ノ處ニテ歐洲政治上ノ移住民ハ亞細亞ニ亞弗利加ニ遠遊シ單身剣ニ仗テ開國建業ノ大主公ト仰カレントスルノ望ナキモノ、如シ乃チ劣等國人ガ優等國人移住ノ爲メニ未ダ大災ヲ被ラザル所以ナレドモ試ニ今日歐洲政治上ノ形勢ヲ察スレバ或ハ彼ノ政治上ノ移住民モ稍感悟スル所アリテ功名立身ノ地ヲ劣等國ニ開クノ心算ヲ立ツルヿトモ爲ランカ是レ劣等國人ノ大ニ戒心ス可キ所ナリ看官次號ヲ讀ンデ其次第ヲ知レ

（以下次號）

雜報

○專賣特許所長　農商務權少書記官商標登錄所長高橋是清氏ハ去る廿日農商務省に於て專賣特許所長兼勤仰付けられたり

○祭粢料　農商務省御雇勅任ジー、イー、ナーラムセイ氏は去る廿日同省より奉職中勤務格別勉勵に付祭粢料として金千四百圓下賜せられたり

○祭粢下賜　故一等主税官市川正寧氏ハ一昨廿一日大藏省に於て在官中卒去に付祭粢料三百圓下賜る旨仰渡されたり

○非職士官　非職海軍少佐松岡方紙、仝海軍大機關士片江義高、仝海軍中尉村越豊房、宮川保之、仝海軍少尉観子島輔二の諸氏は一昨二十一日横須賀滯在申付られたり

○圖面編纂　陸海軍兩省にて東京灣改築の件に關し府廳へ照會の上掛官と出張せしめて圖面の取調中なりしが今度悉皆圖面の編纂に取掛りたるよし

○埃及事件彙報　左に記載する所は一昨日到着せし香港の新聞より抜抄せしものあり若し埃及の地圖と取て參觀したらば英兵進軍の模様を見るに於て大なる助となるべし

○三月十九日スアキム(Suakim)發　グラハム將軍は今朝兵隊を檢閲し畢りて英兵はハシーン(Husheen)の方に進軍せり近邊に敵兵あるを見認め騎兵、騎行(マウンテツド)歩(インフハントリー)兵及び印度歩兵の一隊を遣はして其擧動を探らしめたり然るに敵兵は之を見て退きたり

○同月同日コルチ(Korti)發　サー　エヴェリン　ウード(Sir Evelyn Wood)はメラウヰ(Merawi)とドンゴラ(Dongola)の間の兵隊を指揮せり

○三月廿日印度マドラス(madras)發　オスマン　ヂグナ(Osman Digma)は目下一萬七千人を以てタマニー(Tamanieh)に在りグラハム將軍は之を攻撃せんと用意中あり

○三月廿日コルチ發　サー　エヴェリン　ウードはデッベ(Debbeh)に其本陣を据えたり英兵ハ此月末にコルチを去る筈あり

○三月廿一日倫敦發　將軍グラハム氏の電報によれば英兵は昨日スアキムの陣營を發し激戰の後ハシーンの近き小丘の敵を追ひ拂ひたり敵兵は其數凡そ四千人なりグラハム將軍及び其兵はタマイ(Tamai)に進めり印度の槍手と蘆葦の中に隱れゐる敵兵を衝きたり其間に[illegible]ひの壘塲を築き今ハ大砲六門を備へたる第七十隊にて之を守り居れり此餘の兵は再び本陣に引返せり右の戰にて大尉ダリソン氏と外兵卒八名殺されたり又負傷者の内には少佐ハーヴェー氏同ロベルトソン氏あり又重傷を受けたるはドクトルレーン及び兵卒三十三名なり敵兵の死傷は頗る多しグラハム將軍は此戰況をウオルスレー卿に報道して大に印度兵の勇猛を賞賛せり

○三月二十一日スアキム發　前の報知に據れるハシーンの戰況は左の如し、敵兵はグラハム將軍の攻撃に遇ひ多人數タマイの方に逃れたり英兵死せるもの二十二名、其内十七名は印度兵なり又負傷せし者四十四名、内十六名は印度兵なり中佐ロベルトソン氏は其股に負傷せり此戰に印度兵は花々しく戰ひ二度迄敵兵を衝き多くの殺傷を與へたり

○三月廿二日倫敦發　印度歩兵及び英兵は將軍マクニール氏(Macneil)の麾下に屬し今朝七時二個の方陣を作りスアキムよりタマイの方へ進み台塲を途中に打立んとせり敵兵は之を中途に要撃せしもヘシーメ

の台塲と
傷を以て
三月廿二日ス
への途中六里
れ反賊に攻め
戰れ後遂に退
り又負傷者は
もの士官五名

○愛蘭黨マーシ
と熱望せるの鋒
英兵を害むる賊
せしが今又米國
は二百五十名計
りマーシーと力
と熱集せるの企
ある者の説にハ
て英軍の在來と
の大兵すら退到
人と以て如何に
中なる由なるが
には先つ手初め
達はさせマーシ
も思の外に容易
て我々を迎ふべ
べしと云ひしよ
かる企と爲す積

○香港新嘉坡の
新嘉坡
香港ヲ發シ六晝
八ハしんがぴゆ
（面積二百六方英
ニリ六十三年前
分東經百二度五
景頗ル甚シケレ
リテハ堪難ケレ
シ小生ハ乘組員
ザレ共東京ノ七
ニ常ニ此ノ如シ
此地ノ財産家ハ
ニ涼風ニ酌ミ炎
世界唯金銀ヲ
スルヲ得ズ我邦
恐ル、ニ足ラズ
十五萬內外ニシ
ノ間ニアルベシ
層ノ家屋多ケレ
ク二層造リニシ
壯麗ナルニ及バ
園モ格別感心セ
日支那人ノ數
キ小生ハ生來
然ニモ文明開化
ルバ毫事一見